

(3) 下小屋地区の^{こうち}耕地整理

大信村の水田は、その大部分がきちんとした形に整備されています。

^{おおがたきかい}大型機械を使うようになってから、進められたところが多いのですが、下小屋地区の整理は、すべて人の手によって行われたのです。(明治38年)



開進地区の水田

そのころの田んぼは、せまい上に、形もいろいろでした。そこで、下小屋地区の一部の人たちは、力を合わせて、きちんとした形になおそうと話し合いました。

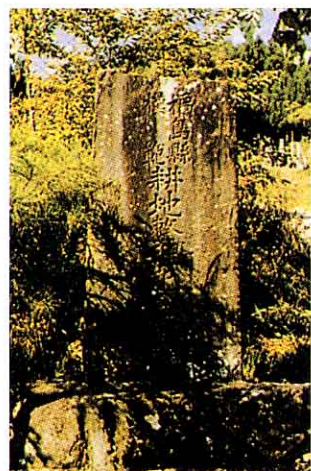


仕事の様子

明治37年(1904年)3月から10月にかけて、何回も話し合い、^{そくりょう}測量も進めました。そして、つぎの年の1月から仕事をはじめたのです。すべてを、人の手によって土をほり、そしてはこぶというのは、ほんとうにたいへんなことでした。こうして、一まいの水田を一^{たんぶ}反歩(約10アール)の広さの長方形にそろえたのです。

このようなことに気づき、協力して実行したことは、とてもすばらしいというので、^{ちじ}県知事から^{ゆうりょう}優良耕地整理として表しょうされました。

★耕地を整理すると、どんな点でつごうがよいか、話し合ってみましょう。



大屋小東がわにある記念碑